

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

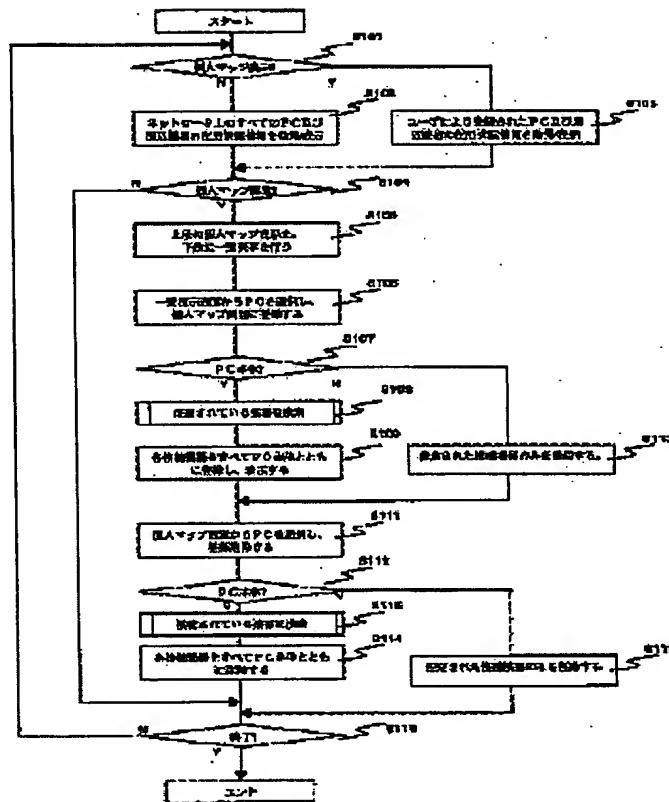
**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

# PROCESSOR AND PROCESSING METHOD AND ITS PROGRAM

Patent number: JP2003005937  
Publication date: 2003-01-10  
Inventor: KIZAKI JUNICHIRO  
Applicant: CANON INC  
Classification:  
- International: G06F3/12; G06F3/00  
- european:  
Application number: JP20010193603 20010626  
Priority number(s):

## Abstract of JP2003005937

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To simultaneously operate peripheral equipment accessory to a computer by operating the icon of the computer.  
**SOLUTION:** This processor is provided with an acquiring means for acquiring the information of a computer on a network and the connection information of peripheral equipment connected to the computer, a display means for displaying the connecting situations of the computer on the network and the peripheral equipment connected to the computer on a display screen based on the acquired connection information, a selecting means for selecting the computer on the network displayed on the display screen, a retrieving means for retrieving the peripheral equipment connected to the computer selected based on the connection information, and a processing means for processing the operation similar to the operation performed to the selected computer also to the retrieved peripheral equipment.



Data supplied from the [esp@cenet](mailto:esp@cenet) database - Patent Abstracts of Japan





10 [0019] 8は外部記憶装置制御部、9、10はデータファイル用のディスクで、例えば9は、フロッピー(R)・ディスク(FDと称す)であり、10はハード・ディスク(HDと称す)である。

[0020] 11は入力制御部であり、1, 2のキーがボード、1, 3のマウス等の入力装置が接続される。操作者はこのキー・ボード11を操作することによりシステムの動作指令等を行う。また1, 3は1, 6のCRT上で画像情報を加工指示するためのがんティング・デバイス(PDと称す)で本実例ではマウスを使用している。これによりCRT 1, 6上のカーソルをX, Y方向任意に移動してコマンドメニュー上のコマンドを選択する。また20処理の指示を行なうほか標準対象の指示、描画位置の指示等もこなす。1, 4はビデオ・イメージ・メモリ(VRAMと称す)、1, 5は表示出力制御部、1, 6はCRT

である。1.6のCRTに表示されるデータは1.1のVRAM上にビットマップデータとして展開されている。1.7は、プリンタ制御部であり、接続されているプリンタ1.8に対するデータの出力制御を行う。1.9は、画像読み取り装置制御部であり、接続されている画像読み取り装置1.10の制御を行う。本実施例における、画像読み取り装置には、1.1、1.2の構成要素が必須であるが、クライアント装置5を介してサーバ側部4、及ぼす通信ポート1を介してサーバ側部4との共有されている間接式端末を用いることができる。

40 画像読み取り装置が物理的に別々のコンポーネントであつても、画像読み取り装置が、画像読み取り機器を含む1つのコンポーネントであつても同様な機能を有することができる。

【0023】図2は本実施例を示すフローチャートである。まず、ステップS101でどのような表示方法をするかどうかが選択される。ここでモザリなどに記述された表示がモザイク表示で定義される。

としてはネットワーク上のPCあるいは周辺機器を接続する「裏表示」と、整備されたPあるいは周辺機器のみを表示する「個人アップ表示」の2種類がある。ここでは、メモリに記憶された裏表示情報を読み出しその機器について接続状態、使用状況などの情報を取得するが、「裏表示」では、ネットワーク上の全てのPCあるいは周辺機器に対して取扱表示処理を行うのに対し、「個人アップ表示」では、整備されているPCあるいは周辺機器に対してのみ行う。

[0024] S101で個人マップ表示設定でなかった場合は、通常の一実機表示であって、S102に処理進む。ここで、ネットワーク上の全てのPCおよび周辺機器の接続状態、使用状況などの情報を取得する。そして、それらの取得した情報を基に全てのPCおよび周辺機器を接続するアイコンを画面表示する。

[0025] 図3は、ネットワークに接続されている機器を一観察表示する観察表示画面の例である。301は本実施例を実現するアプリケーションの画面である。この表示画面では、ネットワークに接続されたPCを中心とし、それらに接続されたチャネルやプリンタが、たとえば、PC名の表示により、階級状況で表示される。301にはメニュー、ツールバー、そして、PCおよび周辺機器を操作するアイコンが表示されているメインウインドウがある。301から301iはそれぞれ機能を持つツールバーである。

一である。302aはネットワーク全体、302bは所属するドメイン、302cは自機を複数のアイコンである。アイコンの形態はPC、プリンタ、スキャナ、FA、Xモデル、MFPなどのデバイス種類によって変更される。また、自機は特別な機器であるために他のPCとは別個で表示される。302dから302jおよびその後他のアイコンは、それぞれ監修されたPCあるいは周辺機器を複数のアイコンである。操作を行うことでさまざまな処理を行うことができる。例えば、301iを選択すると表示を個人マップ表示に切り替えることができる。

る。また、301j)を選択すると個人マップ表示画面モードに切り替わる。

【0026】S101で、個人マップ表示設定であった場合は、S103に処理は進む。ここで、ネットワーク上のPCおよび周辺機器のうち、個人マップ画面に登録されている機器について接続状況、使用状況などの情報を取得する。そして、それらの取得した情報を基にPCにおける周辺機器を表すアイコンを画面表示する。

【0027】図4は、個人マップ表示画面の例である。個人マップ表示は、ネットワーク接続機器一覧から、各

個人が、表示したいものを選択/登録し、表示するものである。本実験例では、れいやイなどのオフィスをあらわす図を同時に表示することにより、物理的な位置関係を認識やすいような個人マンプロファイルを作成することができる。401にはメニュー、ツールバー

5. [0028] S104は、個人マップ画面の選択を実現する。  
[0029] S105は、個人マップ画面画面となる部分である。  
[0030] 図5が、本実例を実現するアプリケーションの画面のひとつである。個人マップ画面の例で、  
左側に地図が表示され、右側に地図上のデータを表示する。また、ネット  
ワーク上の全てのデータも読み出して、同時にウインドウの下  
部に表示する。

100311 504は作成されたハーツであり、504bは配置されたイスハーツである。この画面では、

としてはネットワーク上のPCあるいは周辺機器を接続する「裏表示」と、整備されたPあるいは周辺機器のみを表示する「個人アップ表示」の2種類がある。ここでは、メモリに記憶された裏表示情報を読み出しその機器について接続状態、使用状況などの情報を取得するが、「裏表示」では、ネットワーク上の全てのPCあるいは周辺機器に対して取扱表示処理を行うのに対し、「個人アップ表示」では、整備されているPCあるいは周辺機器に対してのみ行う。

[0024] S101で個人マップ表示設定でなかった場合は、通常の一実機表示であって、S102に処理進む。ここで、ネットワーク上の全てのPCおよび周辺機器の接続状態、使用状況などの情報を取得する。そして、それらの取得した情報を基に全てのPCおよび周辺機器を接続するアイコンを画面表示する。

[0025] 図3は、ネットワークに接続されている機器を一観察表示する観察表示画面の例である。301は本実施例を実現するアプリケーションの画面である。この表示画面では、ネットワークに接続されたPCを中心とし、それらに接続されたチャネルやプリンタが、たとえば、PC名の表示により、階級状況で表示される。301にはメニュー、ツールバー、そして、PCおよび周辺機器を操作するアイコンが表示されているメインウインドウがある。301から301iはそれぞれ機能を持つツールバーである。

一である。302aはネットワーク全体、302bは所属するドメイン、302cは自機を複数のアイコンである。アイコンの形態はPC、プリンタ、スキャナ、FA、Xモデル、MFPなどのデバイス種類によって変更される。また、自機は特別的な機器であるために他のPCとは別個で表示される。302dから302jおよびその後他のアイコンは、それぞれ監視されたPCあるいは周辺機器を複数のアイコンである。操作を行うことでさまざまな処理を行うことができる。例えば、301iを選択すると表示を個人マップ表示に切り替えることができる。

る。また、301j)を選択すると個人マップ表示画面モードに切り替わる。

【0026】S101で、個人マップ表示設定であった場合は、S103に処理は進む。ここで、ネットワーク上のPCおよび周辺機器のうち、個人マップ画面に登録されている機器について接続状況、使用状況などの情報を取得する。そして、それらの取得した情報を基にPCにおける周辺機器を表すアイコンを画面表示する。

【0027】図4は、個人マップ表示画面の例である。個人マップ表示は、ネットワーク接続機器一覧から、各

個人が、表示したいものを選択/登録し、表示するものである。本実験例では、れいやイなどのオフィスをあらわす図を同時に表示することにより、物理的な位置関係を認識やすいような個人マンプロファイルを作成することができる。401にはメニュー、ツールバー

前記主対象物を選択する選択手段と、前記記憶手段に基づいて前記選択された主対象物に接続又は周辺に配置されている副対象物を検索する検索手段と、前記接続された主対象物に対して操作されると、前記接続された副対象物に対しても同様の操作の処理を行う処理手段と、コンピュータに実行させるためのプログラムが構成される。

した接続情報を基にネットワーク上のコンピュータ及びそれに接続されている周辺機器の接続状況を表示画面上に表示する表示手順と、前記表示画面上に表示されているネットワーク上のコンピュータをを選択する選択手順と、前記接続情報を基に前記選択されたコンピュータに接続されている周辺機器を選択する接続手順と、前記選択されたコンピュータに対して操作されると、前記接続された周辺機器に対しても同様の操作の処理を行う処理手順とをコンピュータに実行させるためのプログラムが提供される。

【0015】本発明のさらには他の觀点によれば、複数の機能接続装置が物理的に1つの本体装置で構成される装置が有する複数の機能の情報を取扱する取扱手順と、前記取扱した機能情報を基に本体装置及びそれがあるする機能接続装置を表示画面上に表示する表示手順と、前記表示画面上

に表示されている本体装置を選択する選択手順と、前記機能情報を基に前記選択された本体装置が有する機能装置を選択する検索手順と、前記選択された本体装置に対して操作されると、前記検索された機能装置に対して同様の操作の処理を行う処理手順とをコンピュータに実行させるためのプログラムが記載される。

[0016] 本発明によれば、例えばネットワーク上で共有された本体装置で必要な機器だけを選択してユーザがわかり易い配置で表示するのに貢献できるので、必要最小限の機器の接続状況情報を画面表示することができ、それらの機器を使用する時に非常に操作が楽く

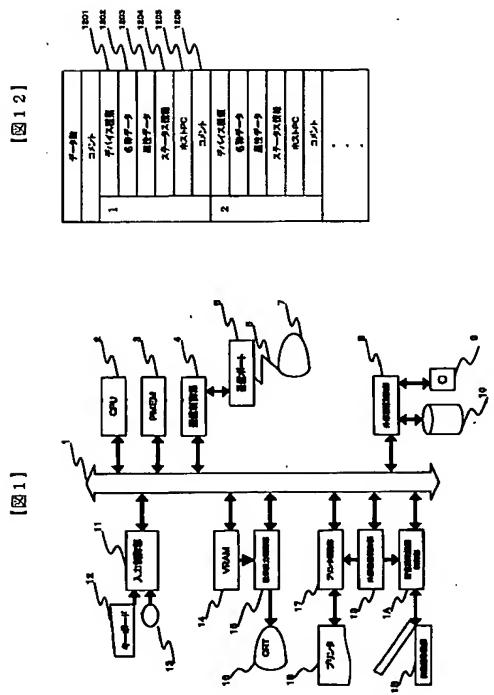
【0017】  
【発明の実施形態】以下、本発明の実施形態を、実施例に沿って図面を参照しながら説明する。  
（第1の実施例）図1は本発明の第1の実施例を示す文書処理装置の構成を説明するプロック図である。1はシステム・バスと、これから説明する各種構成ブロックとはこのシステム・バスに接続されている。2はCPUで構成される。3はプログラム・メモリ（PMEM）と称す）で、4はCPUと接続される。5はCPUと接続される。

本処理のためのプログラムを適宜ハードディスク1.0から読み込みし、2のCPUにて実行する。又、キーボード1.2から入力されたデータはテキスト・メモリでもあるPROMにコード情報として格納される。4

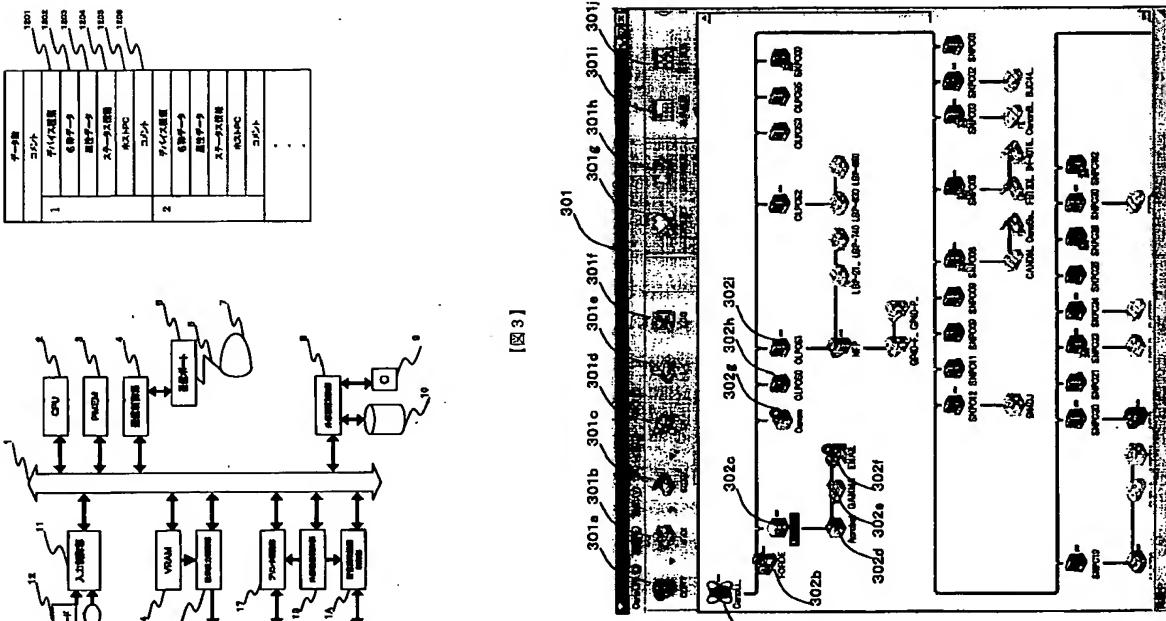




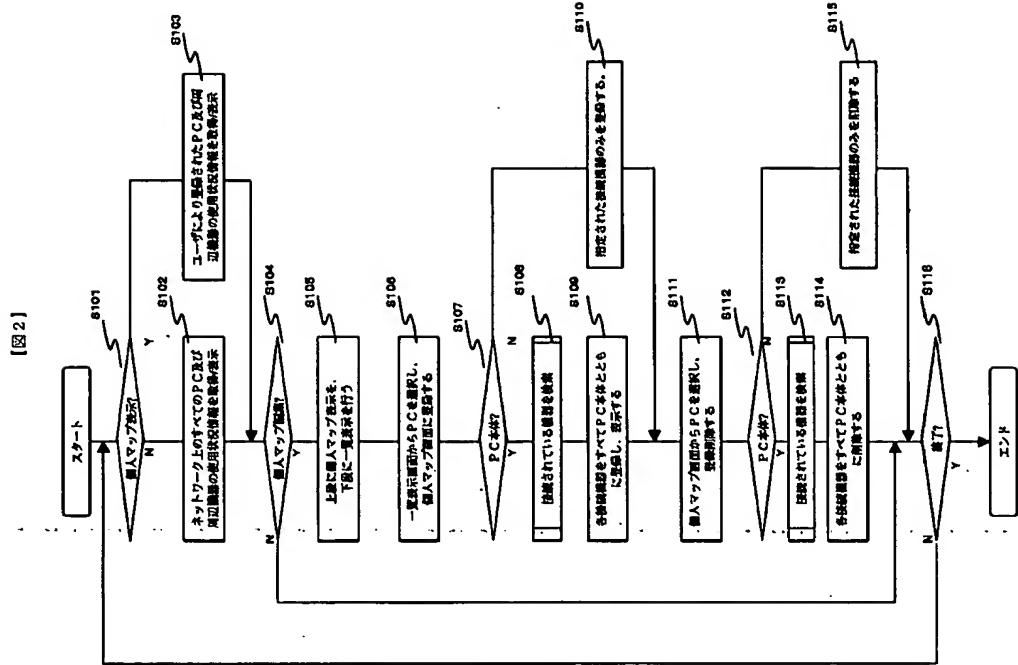
(12)



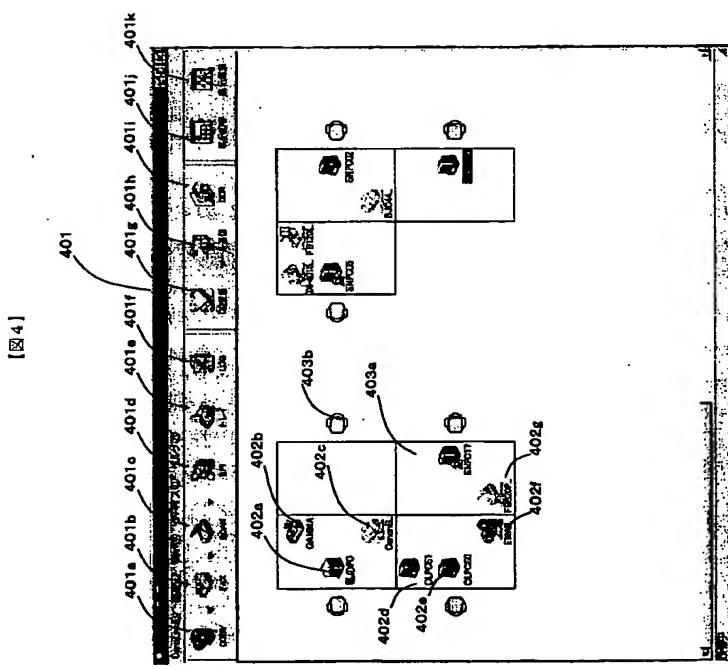
21



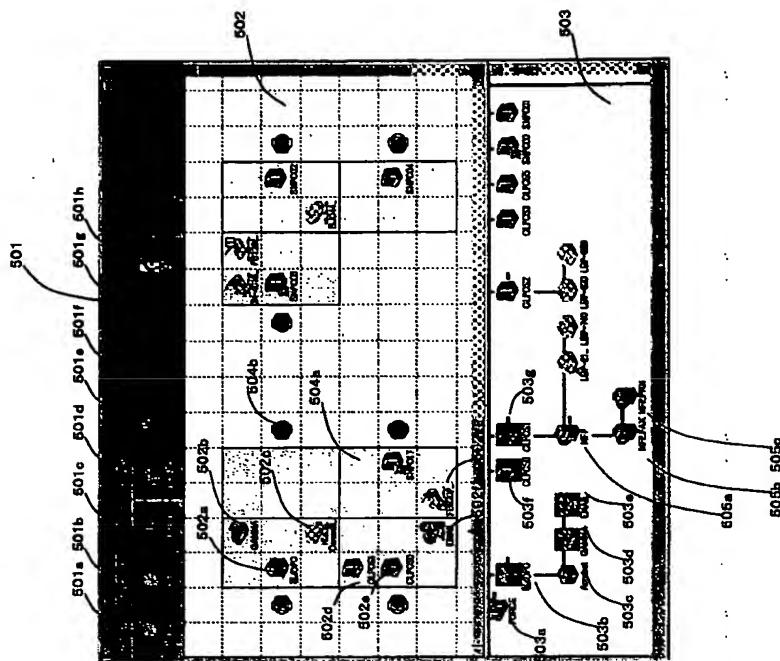
13



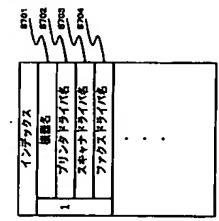
(14)



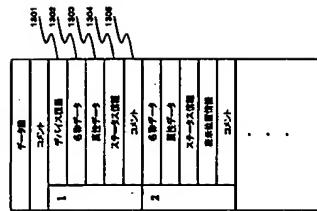
[图5]



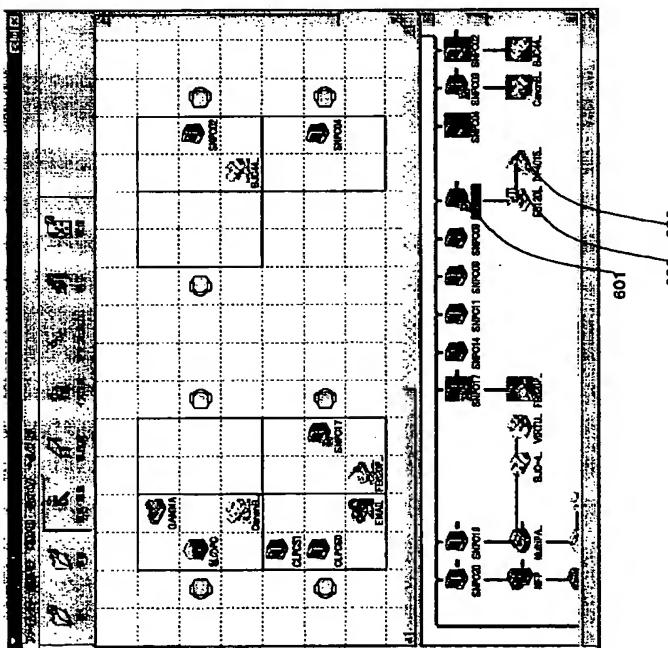
四二〇



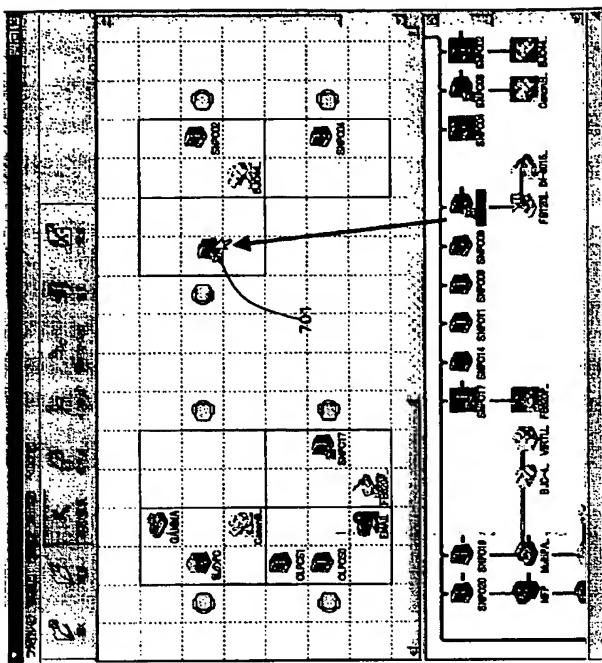
261



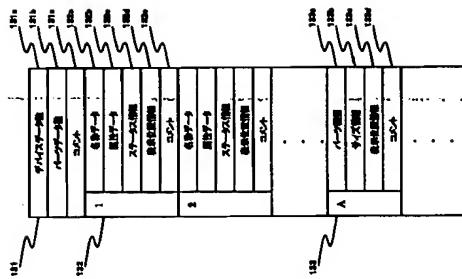
[四六一]

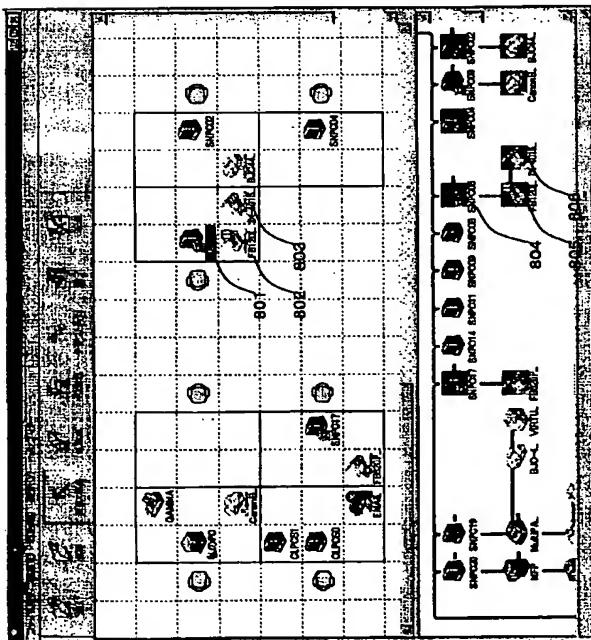


[图7]



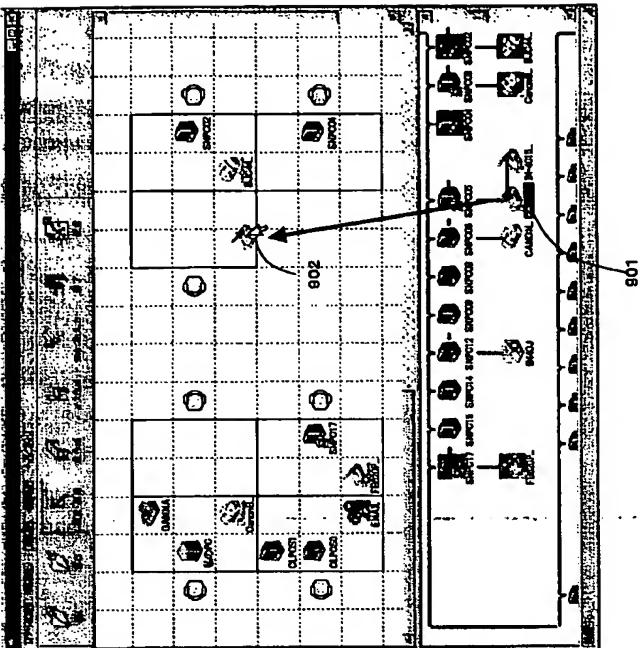
131





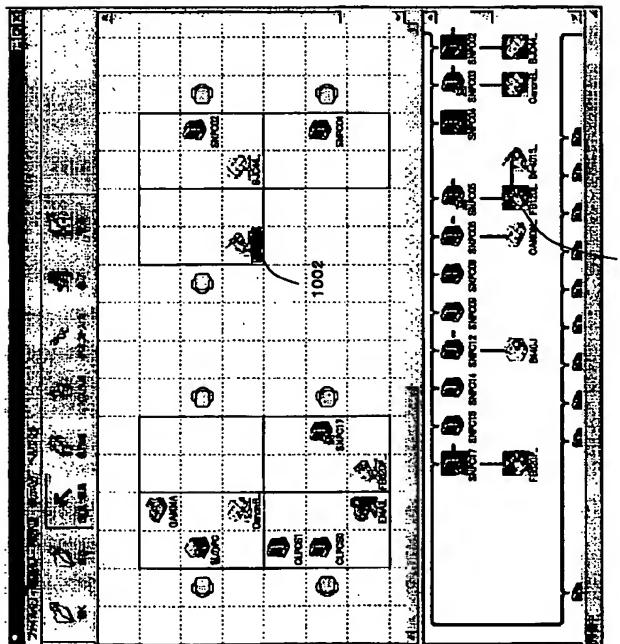
[81]

[四九]



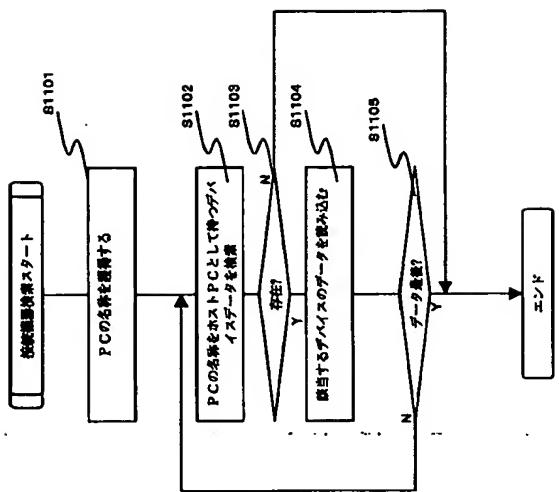
特號 2003 = 5837

[図10]

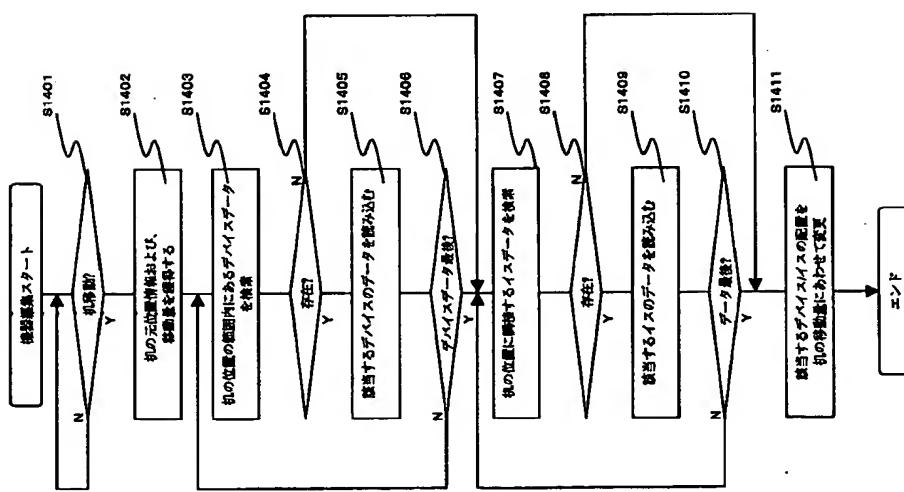


1001

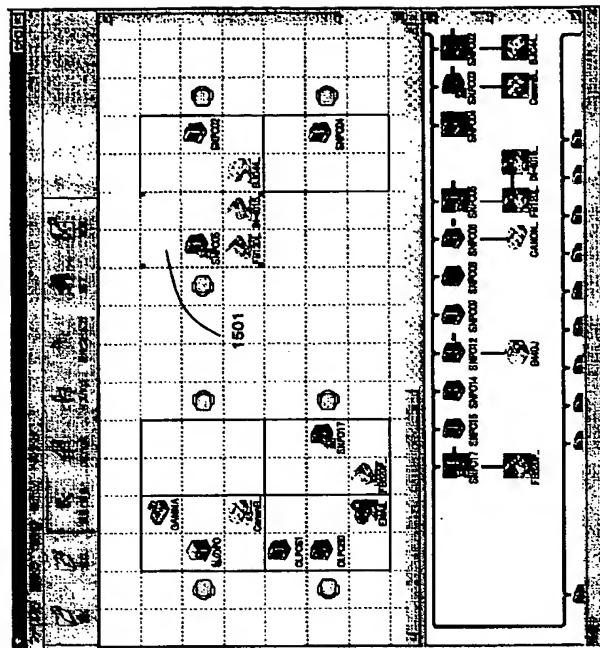
[图11]

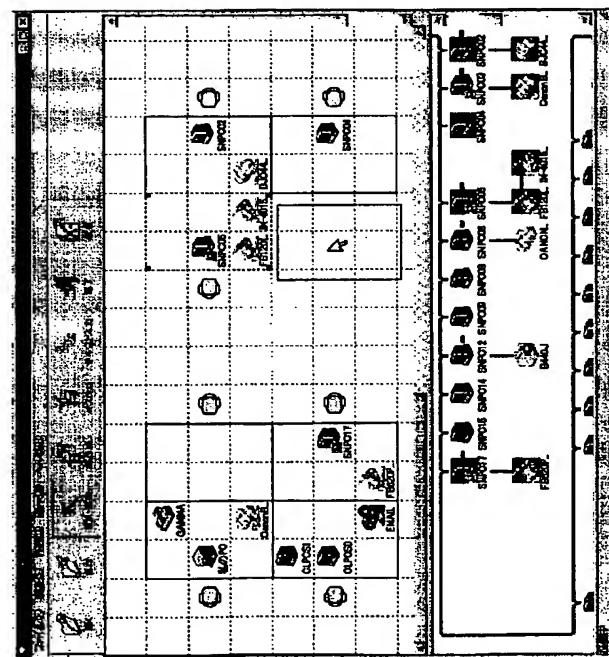


[図14]

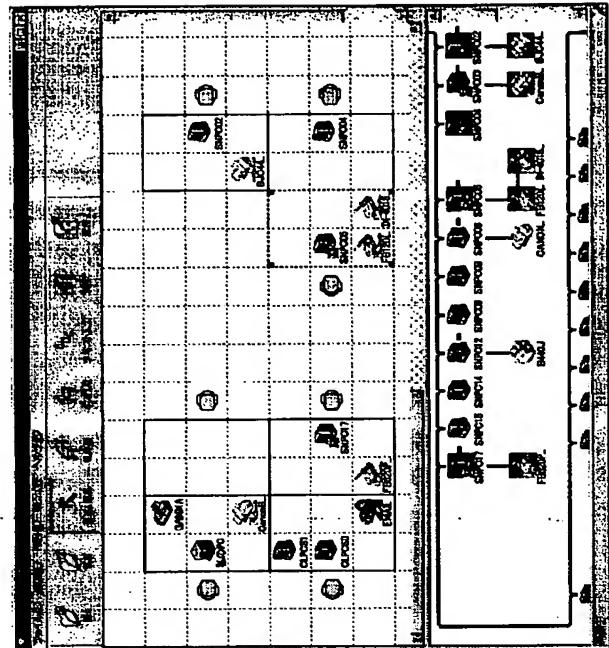


[図15]



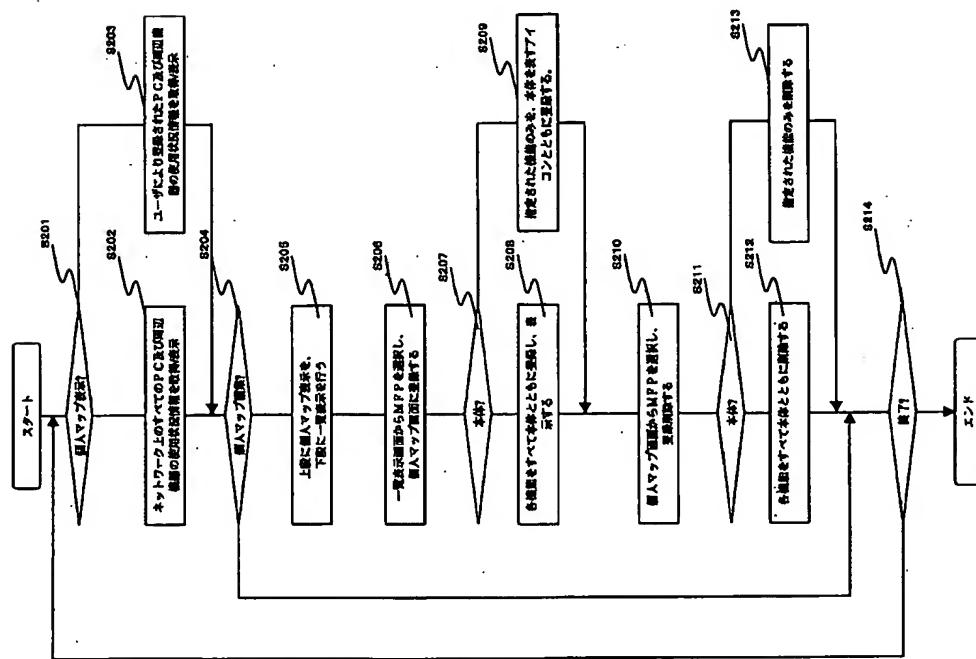


[図16]

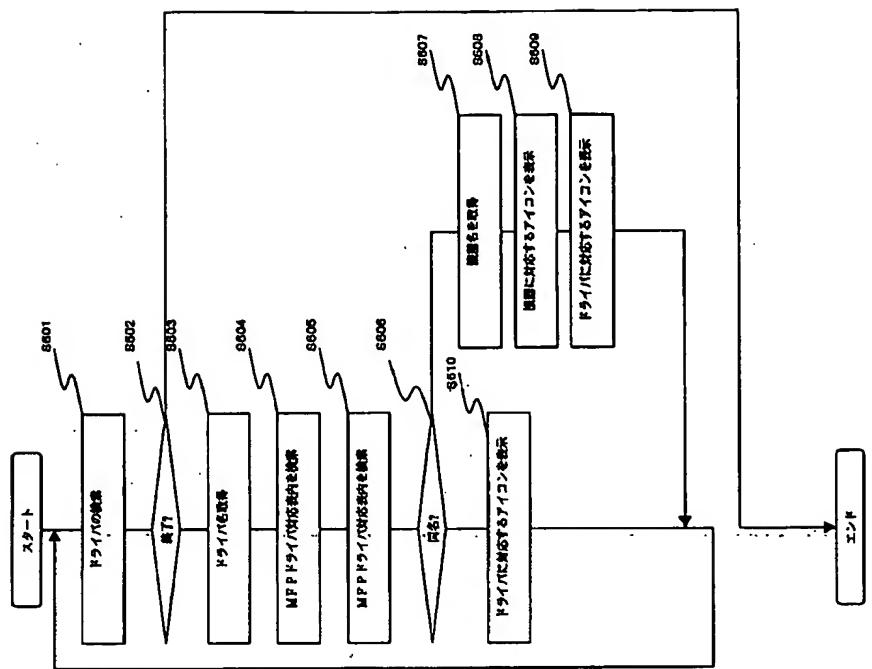


[図17]

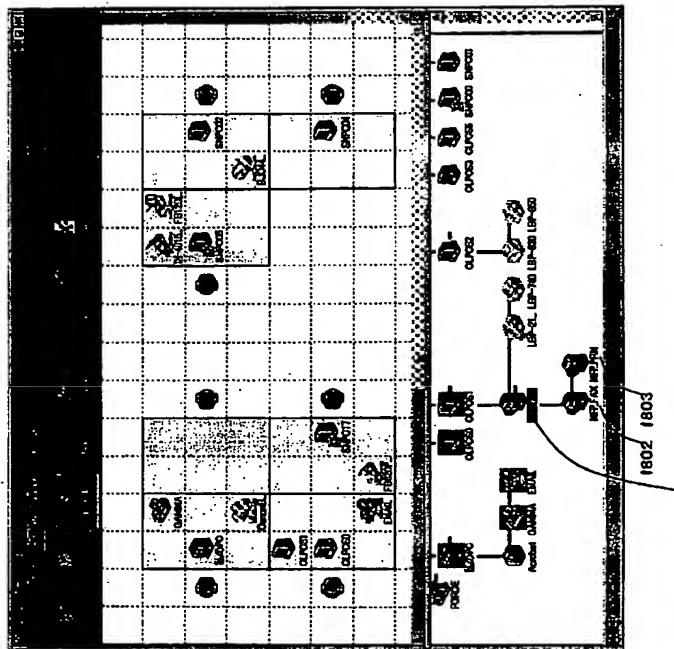
[図1.8]



[図1.9]

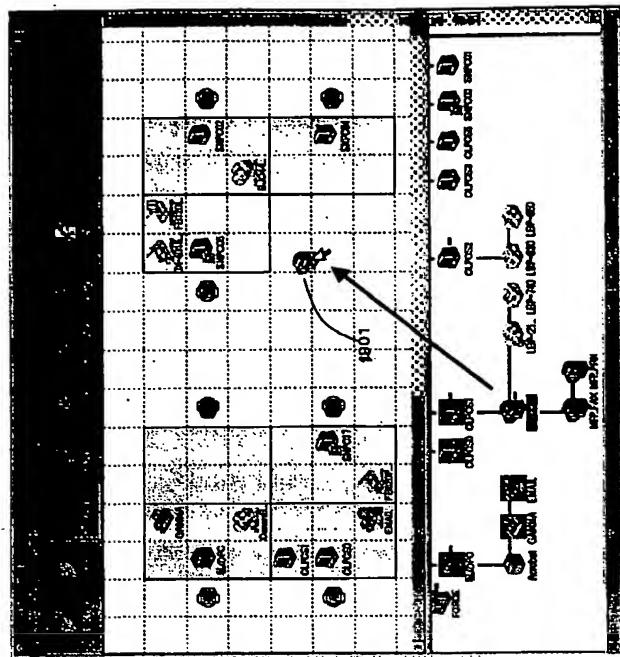


[図2.1]

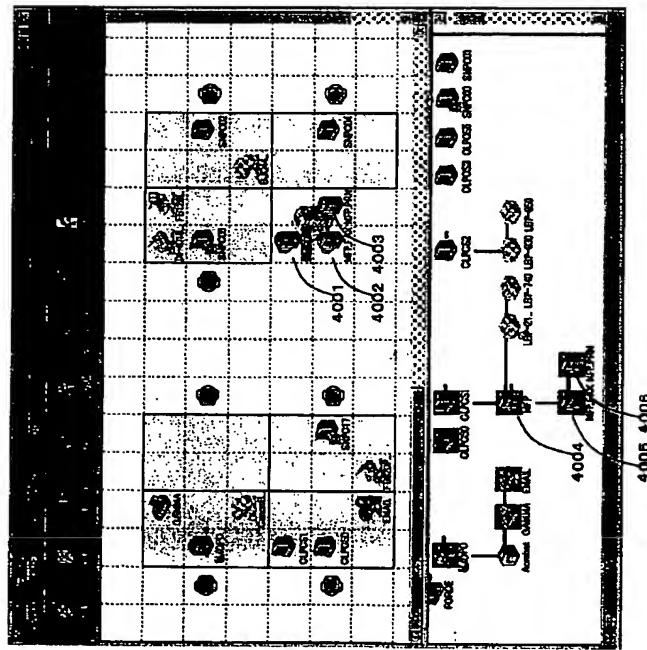


1801

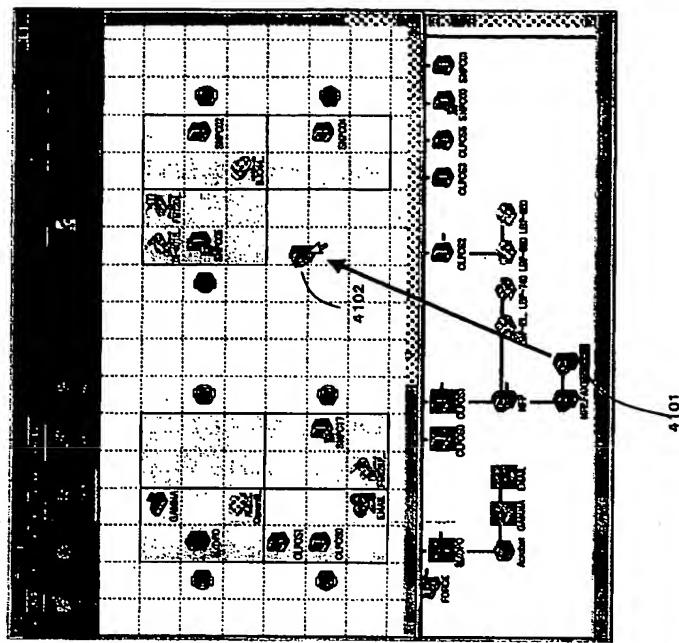
[図2.2]



[図2.3]



[図2.4]



[図25]

